

北播磨総合医療センター

外科

指導担当医（役職）

中村 哲（部長）

実習概要

概要

手術見学、そして手術助手として多種多様な手術に参加します。月曜日から金曜日まで毎日が手術日で、鼠径ヘルニアや胆石症にはじまり、急性腹症に対する緊急手術、胃癌・大腸癌・食道癌・肝癌・膵癌・乳癌などの悪性腫瘍の手術、そしてロボット支援手術（食道・胃、結腸・大腸・膵）まで、外科・消化器外科の醍醐味のすべてがここで経験出来ます。また、術前評価、画像診断、術後創処置もしっかり身につきます。

医療面接

担当患者が決まり、患者さんが入院されたら医療面接：症状や病歴などを確認しましょう。また、手術を受ける患者さんの気持ちや考えにも触れてみましょう。指導医には、まだ話していないことが聴けるかもしれません。

身体診察

毎日の廻診では、腹部所見、全身状態、創部、ドレーン管理を経験して行きます。ガーゼ交換、抜糸、抜鉤、ドレーン管理などを行います。急性腹症、汎発性腹膜炎では、筋性防御や反跳痛がどのようなものか、経験します。

カルテ記載

学生カルテに記載を行います。

症例プレゼンテーション

術前カンファレンス（火曜日、金曜日）では、外科専門医・指導医や外科専攻医の指導の下で担当症例のプレゼンテーションを行います。ここでは、術前全身状態の評価、画像診断、手術適応などを身につけます。

その他（特色など）

初期研修医や外科専攻医の先生が、同じ目線で指導やアドバイスをしてくれます。女性の外科医が複数勤務していますのでロール・モデルとして、また、外科専攻医師が多くの手術を執刀している姿を、将来の自分の姿と置き換えてください。

学生へのメッセージ

単なる臨床実習にとどまらない「外科の臨床」に触れてみてください。将来、外科医をめざす学生はもちろんのこと、そうではない学生も将来につながる良い経験ができます。「外科チームの一員」として・・・お待ちしております。